

Engineered materials

[機能材料事業本部]



常務執行役員 機能材料事業本部長
岡部 正人 Okabe Masato

Vision 2024年のありたい姿

「マテリアルの知恵」を活かし、次から次へと新規市場を開拓し、新商品、新規事業を創出する組織体である、「市場共創型」の事業体へ変革を遂げる

Mission 機能材料事業本部の基本方針

「粉体」・「回路材」・「素形材」の技術シナジーを発揮し、各事業の収益力強化と新商品の開発・上市を継続的に行なう

Analysis 事業環境分析

[機会とリスク]

- ・技術革新による新たな需要創出
- ・高機能商品の需要拡大
- ・海外からの原料調達/新興国メーカーの台頭

[強み]

- ・高い技術と品質に裏付けられた高機能商品
- ・グローバルな生産供給体制/販売チャンネル
- ・複数の生産拠点を有するBCP体制構築

[打ち手としての基本戦略]

- ・タイムリーかつフレキシブルな高機能商品の量産および供給体制構築
- ・機能材料事業が持つコア技術と社外ネットワークを活用した新商品の開発および新市場の創出
- ・マーケティング力の向上/デジタル化/管理高度化による成長戦略及び本部機能の強化

2021年度の見通し 19中計達成への打ち手

Society5.0を実現する5G、IoT、CASE、MaaSの伸展による関連市場の拡大にともない、銅箔、機能性粉体などの事業ではさらなる成長が見込まれるため、この機会をとらえるべく拡販や新商品開発などの打ち手を加速します。触媒事業では二輪シェア維持と四輪の拡販、薄膜材料事業では収益力強化、といった打ち手を講じ、中計達成に取り組めます。合わせて、資本効率を意識した経営資源の配分を通じて、さらなる事業の拡大を図ります。

2024年のありたい姿 実現への取組み

かつてない大きな変化が急速に進む事業環境に対応すべく、2024年のその先も見据え、グローバルシェアNo.1機能材料を連続的に生み出し、社会に貢献する事業体となることを目指します。既存事業の事業価値最大化追求に加え、社会課題の解決に役立つ新商品、新規事業の創出に注力します。

個別事業戦略

[銅箔]

スマートフォン・外部メモリ向けパッケージ用 MicroThin™や高周波通信用ハイエンド電解銅箔をはじめとする5G関連製品の拡販に引き続き取り組みます。合わせて、価格競争力向上とBCP体制強化に向け、生産拠点の最適化や工場のスマート化を進めます。

[触媒]

二輪用では、各国の排ガス規制強化や省貴金属化への対応を進め、トップシェアを維持します。四輪用では自動車のEV化伸展を見据え、GPF触媒の投資回収を進めつつ、差別化技術開発の強化と拡販に注力いたします。

[機能性粉体]

MLCC向け銅粉をはじめとする5G関連製品や研磨材などのさらなる高品質化や価格競争力強化により拡販に取り組みます。また刻々と変化する市場ニーズや商品サイクルをふまえ、新商品を継続的に投入できる体制を強化します。

[薄膜材料]

フレキシブルかつ価格競争力のあるグローバルな生産体制の構築や販売価格の適正化を通じ、収益力向上に向けた事業体制の構築を進めます。

[セラミックス]

アルミ溶湯用チューブ型ろ過装置をはじめとした主力商品の販売強化や工場の自動化/ICT化による生産性向上に取り組みます。

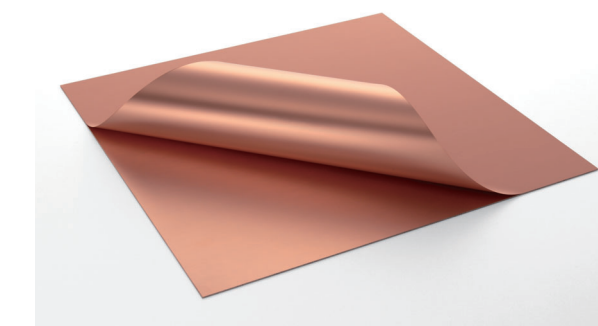
2020-2021年度 トピックス

Circuit Foil Luxembourgへの銅箔ライセンス供与

キャリア付き極薄銅箔「MicroThin™」が使用される微細回路プリント配線板プロセスであるMSAP (Modified Semi Additive Process)に関する当社保有特許の非独占ライセンス契約をCircuit Foil Luxembourg Sarl (ルクセンブルク・ウィルツ)と締結しました。これにより、当社が保有しているMSAP工法に関する権利の認知度向上と、これにともなう当社キャリア付き極薄銅箔の販売拡大が期待されます。

5G・IoT機器向けキャリア付き極薄銅箔の量産開始

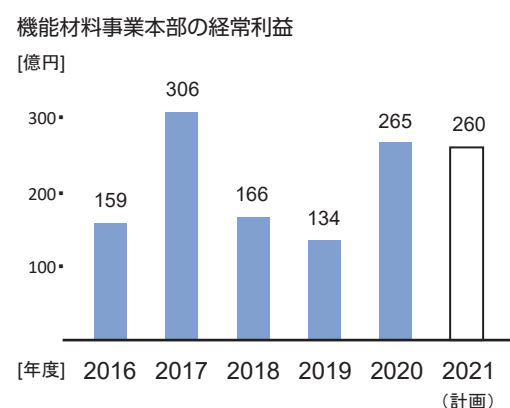
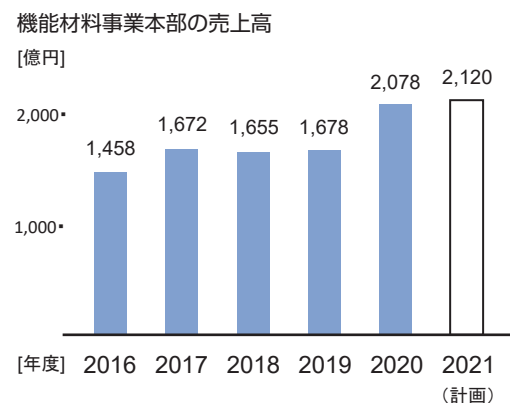
キャリア付き極薄銅箔「MicroThin™」の新規製品となる“MT-GN”の量産出荷を開始しました。これにより、今後高速通信化が進む5G・IoT製品向け、また、微細化が進むMSAP工法を用いた回路基板向けとして、伝送損失の低減による信号品質の向上、エッチング量低減による微細回路形成性の向上などの効果が期待されています。



キャリア付き極薄銅箔 MicroThin™

三井金属韓国における生産および販売活動を終了

韓国国内におけるITOターゲットの需要縮小を背景に、2021年6月末を目途に株式会社三井金属韓国の生産および販売活動を終了することを決定しました。同社が行っていた生産は三池ターゲット工場(福岡県大牟田市)および台湾特格股份有限公司(台湾・台中市)に移管し、韓国国内への販売活動は薄膜材料事業部営業部にて担っていきます。今回の経営資源の選択と集中により、さらなる事業体質の強化を図ります。



Metals Mining and smelting

[金属事業本部]

Vision 2024年のありたい姿

製錬・資源ネットワークを活用し、継続的な製錬・リサイクルの深化と、資源・エネルギー開発の推進により、持続可能な社会の実現に向け価値を提供し続ける

Mission 金属事業本部の基本方針

循環型社会実現の要請をビジネスチャンスと捉え、金属・資源事業基盤を活用した社会貢献により持続的な事業の成長を実現する

Analysis 事業環境分析

[機会とリスク]

- ・世界的かつ長期的な亜鉛、銅の需要の伸び
- ・世界的なリサイクルニーズの拡大
- ・世界的な再生可能エネルギーの普及促進

[強み]

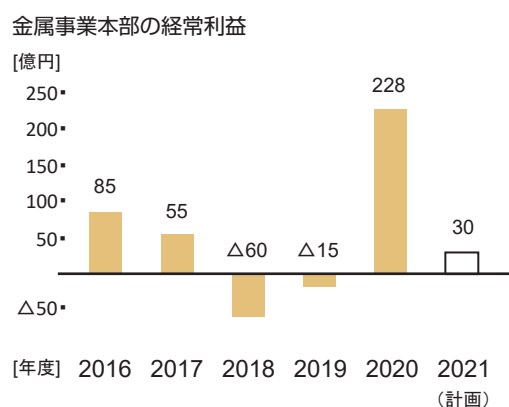
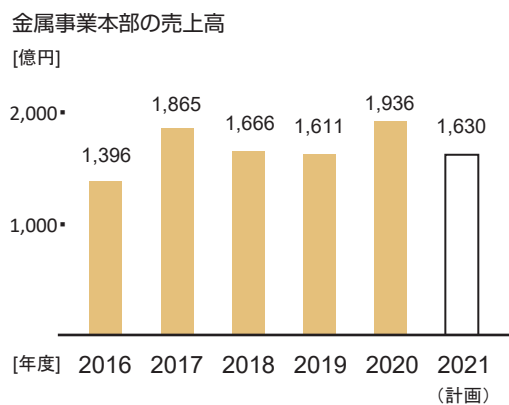
- ・亜鉛鉱山自社運営ノウハウと精鉱生産技術
- ・国内外8製錬所のネットワーク
- ・地理的条件を活かした再生可能エネルギー発電事業

[打ち手としての基本戦略]

- ・資源の循環型社会の構築推進
(マテリアル・スチュワードシップの推進)
- ・リサイクル製錬への事業構造転換



取締役 兼 常務執行役員 金属事業本部長
角田 賢 Tsunoda Satoshi



2021年度の見通し 19中計達成への打ち手

亜鉛金属相場は2021年度も引き続き高位で推移すると予想しています。一方で、亜鉛事業の買鉱条件が悪化していること、また、前年度比でたな卸資産評価益の効果が目減りすることから、2021年度損益は19中計経営計画予算を上回るも、2020年度の損益からは減少するものと見込んでいます。製錬事業共通の取り組みとして「安定操業」を進めます。亜鉛・鉛事業では亜鉛酸化鉱、鉛系リサイクル原料の増処理、銅・貴金属事業では銅製錬アセットを活かした有価金属回収活動にて資源の有効活用を進めてまいります。鉱山事業ではペルーのコロナ禍の状況に適切に対応し、操業の維持、収益確保に努めてまいります。

2024年のありたい姿 実現への取り組み

安定操業とリサイクル原料増処理に引き続き取り組んでまいります。また、亜鉛・鉛事業部、銅・貴金属事業部をひとつの製錬ネットワークとしてシナジー効果を創出することで、有価金属回収効率を向上させ、資源を最大限有効活用することで循環型社会の構築へ貢献します。ペルーのワンサラ鉱山についてはコロナ禍に万全の対応を取りつつ、フル操業復帰の準備を整えます。また、神岡鉱業の水力発電や奥会津地熱に代表されるエネルギー資源につきましても、発電効率向上、新規案件の可能性について検討してまいります。

個別事業戦略

[亜鉛・鉛]

亜鉛事業は、リサイクル原料増処理と生産性維持の両立を図ります。また、コロナ禍終息後の需要回復を確実に取り込みつつ、調合亜鉛の拡販を進めてまいります。鉛事業は、鉛溶鉱炉によるリサイクル原料の増処理と副産物の増回収を進めることで収益向上を図り、加えて中間品在庫の増加を抑えながら財務体質の改善に取り組めます。

[銅・貴金属]

銅製錬事業再編以降、円滑に銅製錬事業を遂行できる体制作りを進めました。日比グループを加えた製錬ネットワークの再構築による有利原料増集荷・増処理を通じ、日比グループの競争力強化と価値向上に取り組めます。今後も製錬ネットワーク強化に向けた追加施策の検討を進めます。

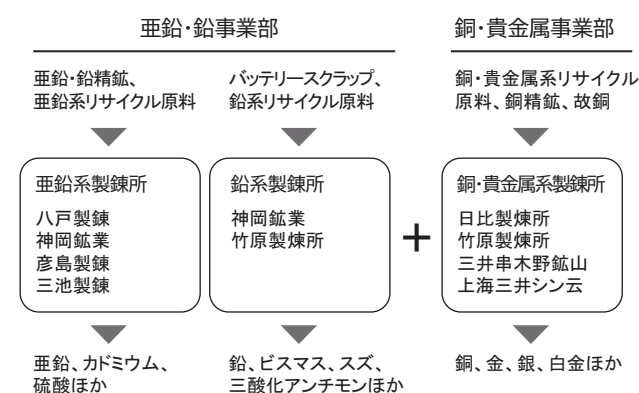
[資源開発]

非鉄金属相場の変動など環境変化に応じたフレキシブルな操業体制を実現することで、ワンサラ鉱山の事業価値最大化を目指します。

2020-2021年度 トピックス

製錬ネットワークのさらなる深化

2020年4月の銅製錬事業の再編にともない、製造拠点である日比製錬(株)・日比共同製錬(株)の日比グループの競争力および価値向上に当社が直接関与できる体制になりました。当社グループの金属事業の強みは、蓄積してきた製錬技術と、亜鉛・鉛・銅・貴金属製錬を擁して多様な元素回収を可能とする製錬ネットワークであり、そのさらなる深化を図ります。具体的には銅・貴金属、亜鉛・鉛の各プロセスの利点と欠点を相互に補完し、金属回収効率の改善や、これまで処理の難しかったリサイクル原料の処理などを進めることで、二つの事業のシナジー効果を創出・拡大し、競争力を一層高めていきます。



三井金属グループ 金属事業の「製錬ネットワーク」

チリ共和国における銅鉱山の権益を譲渡

当社は事業ポートフォリオ最適化の観点に基づき銅製錬事業および鉱山事業を見直しました結果、経営資源を他の事業へ投入することがより当社の企業価値の向上に資するとの結論に達しました。ニッポン・カセロネス・リソーシズ株式会社を通じて保有していましたカセロネス銅鉱山をJX金属株式会社に譲渡し、1996年から25年にわたり日本コンソーシアム(Japan Collahuasi Resources=JCR)を通じて三井物産株式会社とともに保有していましたコジャワシ銅鉱山の権益JCR株式8.08%全量(コジャワシ銅鉱山権益見合0.97%)を三井物産へ譲渡いたしました。

リサイクル原料の獲得と増処理

2020年度はコロナ禍の影響により、海外の鉛系リサイクル原料の入荷は減少いたしました。亜鉛、貴金属を含めました全体としては、リサイクル原料比率57%となり、例年と変わらず高い水準を維持しました。2020年度から新たに加わりました銅製錬プロセスを有機的に繋げることで、さらに多種多様なリサイクル原料の獲得および処理を2021年度も引き続き推進してまいります。

Automotive parts & components

[自動車部品事業＝三井金属アクト]

Vision 2024年のありたい姿

「ものづくりの知恵」を活かし、「安全」「快適」「感動」を提供し続けられる会社になる。
アクトブランドを確立し、お客様からの信頼を確かなものとする

Mission 三井金属アクトの基本方針

自動車の安全性・快適性を生み出す機能部品を中心に、日々の環境変化、技術変化など時代の変化の最先端で、新しい製品を提案することにより価値を提供し続ける

Analysis 事業環境分析

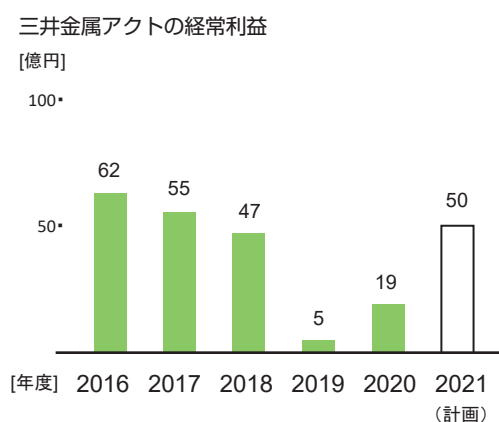
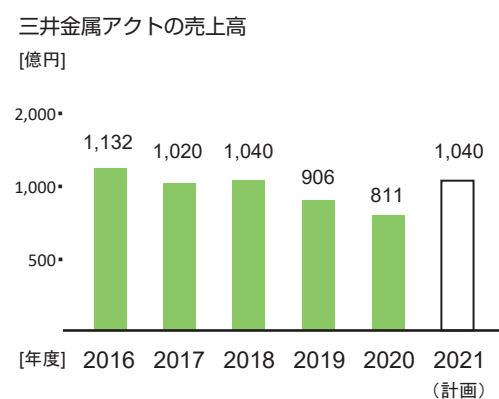
- [機会とリスク]
- ・欧米系OEMへの販売機会増加
 - ・自動車の電動化、自動化による新製品拡販
 - ・自動車市場の減速と新たな顧客/競合の台頭

- [強み]
- ・ドア周り製品専門メーカーとしての技術力
 - ・国内外主要拠点での部品生産から組立までの一貫生産
 - ・長年にわたる日系優良OEMとのパートナーシップ

- [打ち手としての基本戦略]
- ・品質とコスト競争力の持続的な強化
＝スマートファクトリー化による生産性、量産品質の向上
 - ・戦略的大型受注による拡販の実現
＝“CASE”に対応したドアシステム製品の開発、提案



常務執行役員 兼 三井金属アクト株式会社 代表取締役社長
井形 博史 Igata Hiroshi

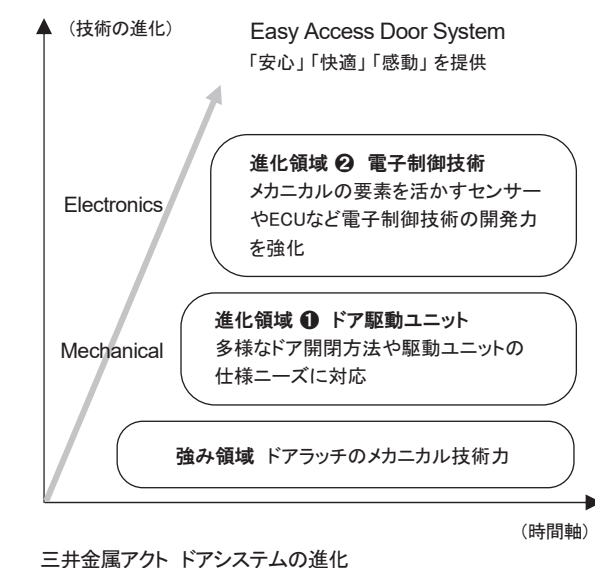


2021年度の見通し 19中計達成への打ち手

2020年度は米中貿易摩擦、COVID-19感染拡大の影響により世界の自動車生産台数は大幅に減少いたしました。2021年度以降、市場は緩やかな回復が予測され、三井金属アクトの2021年度の売上も前年度比微増を見込んでいます。市場の変化に対応するため、19中計の計画値を上回るコスト削減により筋肉質化したコスト競争力の維持、さらなる強化を図ります。また、ICT導入によるスマートファクトリー化により、生産性、量産品質の向上、コスト削減を図ります。

2024年のありたい姿 実現への取組み

“CASE”と呼ばれる自動車業界の新たな潮流の中、電動/自動で開閉するドアなどのシステム製品の需要は今後増加が見込まれます。三井金属アクトが長年培ってきたドアラッチの技術に電子制御技術を融合し、“ドアシステムサプライヤー”としてお客様に新たなドアシステム製品を提案、また“CASE”に適した新モビリティへの拡販に注力してまいります。



2020-2021年度 トピックス

モロッコ工場 ドアラッチの組立生産開始

2020年1月に営業を始めましたモロッコ工場(モロッコ北部・タンジェ)は、2021年2月よりドアラッチの組立生産をスタートさせました。2021年度には欧州市場へドアラッチの供給を本格的に開始いたします。



MITSUI KINZOKU ACT TANGER MAROC SARL (MKAT)

2020年度にお客様から頂いたアワード (一部、順不同)

- ・Toyota Motor Thailand Co., Ltd. 様
「Winner of 2020 Outstanding Quality Performance」
- ・Nissan Motor (Thailand) Co., Ltd. 様
「Regional Supplier Quality Award Finalist 2020」
- ・Honda Cars India Ltd. 様
「Kaizen Competition 北インド大会最優秀賞(品質部門)」
- ・PT. Honda Prospect Motor 様
「2020 Supplier Award Excellence in Quality」
- ・Honda Automobile (Thailand) Co., Ltd. 様
「Quality Award in 97Ki」

Easy Access Door System

どなたに対しても「安心」「快適」「感動」を提供
ご高齢の方や小さなお子様も安全・快適に乗り降りできる

